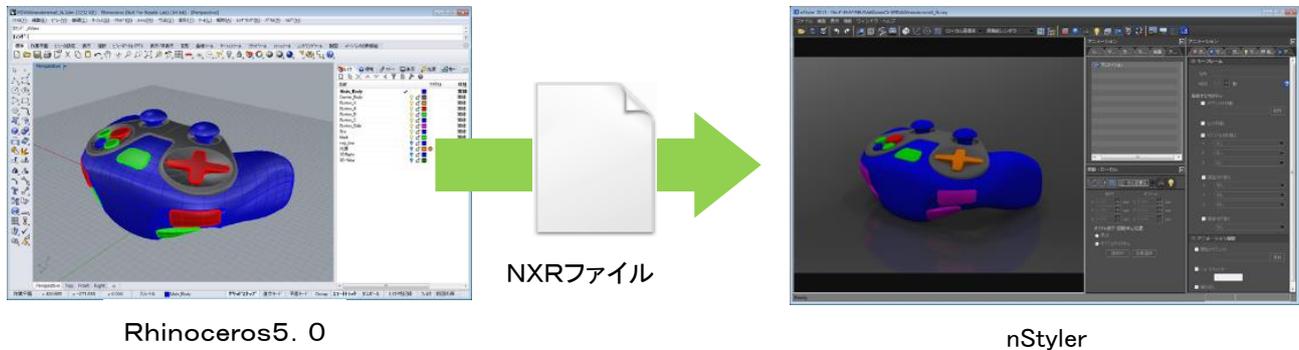


Rhinoceros 5.0 エキスポーター 取扱説明書

株式会社グラップス
2013 年 9 月

■ 概要

「Rhinoceros 5.0エクスポーター」はRhinoceros5.0に読み込まれる3DデータをnStyler用モデルデータ形式「.nrx」ファイルへ出力するエクスポートプラグインです。Rhinoceros5.0に読み込まれているサーフェース、ソリッド、メッシュデータなどの形状とレイヤー情報を出力可能です。



■ 動作環境

Rhinocerosのバージョン

本エクスポータープラグインはRhinoceros 5.0(32bit版および64bit版)のみ対応します。Rhinoceros4.0をお使いの場合はRhinoceros4.0用のエクスポータープラグインを用意してください。

ライセンスについて

本プラグインを使用するにはライセンスファイルが必要です。発行されたライセンスファイルを使用するPCの所定の場所にインストールする必要があります。

ノードロック版

ご購入時に申請いただく「MACアドレス」に基づいてライセンスファイルを発行致します。ライセンスが発行されるまでの期間はダウンロードファイルに含まれるテンポラリーライセンスをご利用いただけます。

ドングルライセンス版

ご購入後にUSBドングルとライセンスファイルを発送致します。ご到着までの間はダウンロードファイルに含まれるテンポラリーライセンスをご利用いただけます。

カンパニーライセンス版・アカデミック版

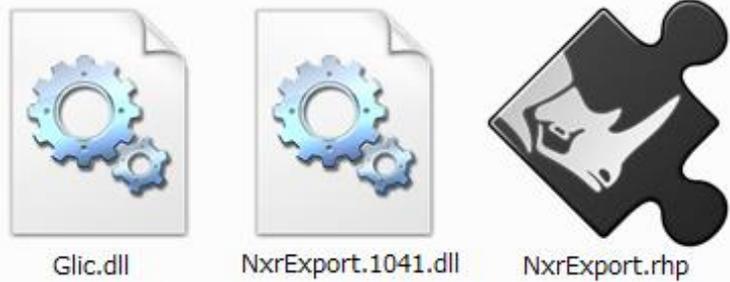
ご購入後にダウンロードしていただくファイル内のライセンスファイルをご利用いただけます。

■ インストール方法

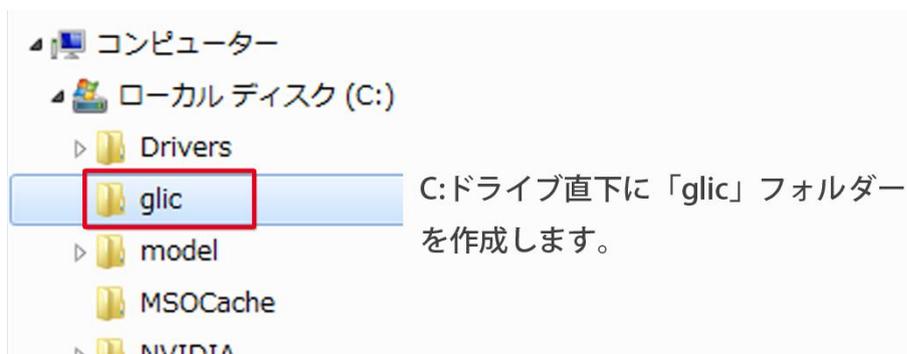
以下の手順で、Rhinoceros5.0エクスポータープラグインをインストールします。

(1) ダウンロードしたフォルダを開きます。以下のファイルが含まれます。

「32bit 版(x86)」、「64bit 版」フォルダ	使用する Rhinoceros のバージョンに合わせていずれかのバージョンを使用します。
「NxrExport.1041.dll」、「NxrExport.rhp」、「Glic.dll」	プラグイン本体です。3つ一組で使用します。プラグインディレクトリにコピー後に Rhinoceros プラグインオプションで指定する必要があります。
「vcredist_x86.exe」	32bit 版 Rhinoceros でプラグインを動作するために必要な Windows 更新ファイルです。「NxrExport.rhp」のインストール前に実行します。
「Rhinoceros 5.0 エクスポーター取扱説明書.pdf」	本取扱説明書です。



(2) ライセンスファイルをコピーするフォルダを用意します。Cドライブ直下に「glic」フォルダを作成します。すでにある場合はそのフォルダを使用します。



(3) ご購入したライセンスパッケージに合わせた方法でライセンスファイルをインストールします。

ノードロックライセンス版の場合

1. 発行されたライセンスファイルが届いている場合、そのライセンスファイルを「glic」フォルダーにコピーします。届いていない場合、ダウンロードしたファイルに含まれるテンポラリーライセンス「Rhino5NxrExport_temporary.glic」を「glic」フォルダにコピーしてください。

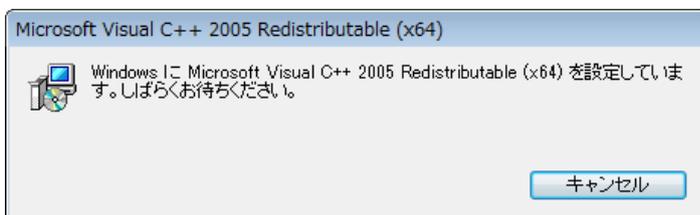
ドングルライセンス版の場合

1. USBドングルをPCのUSBポートに接続してください。接続後にOSに含まれているドライバが自動でインストールされます。
2. 発行されたライセンスファイルが届いている場合、そのライセンスファイルを「glic」フォルダーにコピーします。届いていない場合、ダウンロードしたファイルに含まれるテンポラリーライセンス「Rhino5NxrExport_temporary.glic」を「glic」フォルダにコピーしてください。
3. USBドングルを別のPCに接続する場合も同様にライセンスファイルを「glic」フォルダにコピーします。

カンパニー／アカデミックライセンス版の場合

1. ダウンロードしたファイルに含まれるライセンスファイル「Rhino5NxrExport.glic」をコピーしてください。
2. 使用する各PCにも同様にライセンスファイルを「glic」フォルダにコピーします。

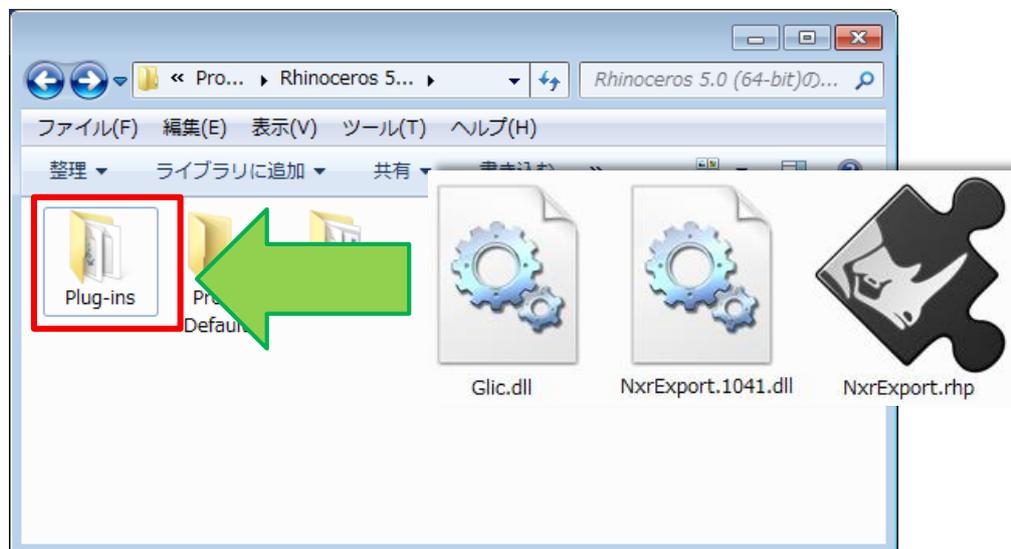
(4) 32bit 版の場合は「vcredist_x86.exe」を実行します。「Microsoft Visual C++ 2005」ウィンドウが表示され必要なモジュールが更新されます。このウィンドウは更新終了時に自動的に閉じます。



(5) 次に Rhinoceros5.0 のプラグインフォルダに「NxrExport.rhp」と「NxrExport.1041.dll」と「Glic.dll」をコピーします。

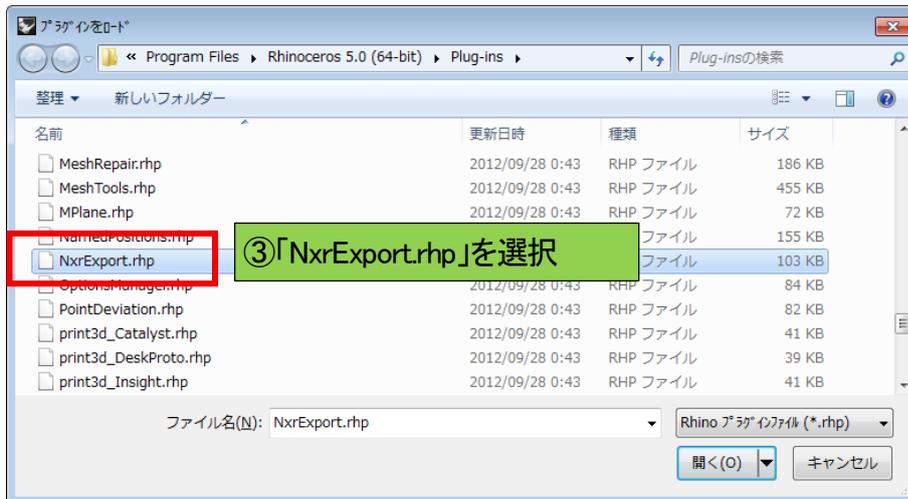
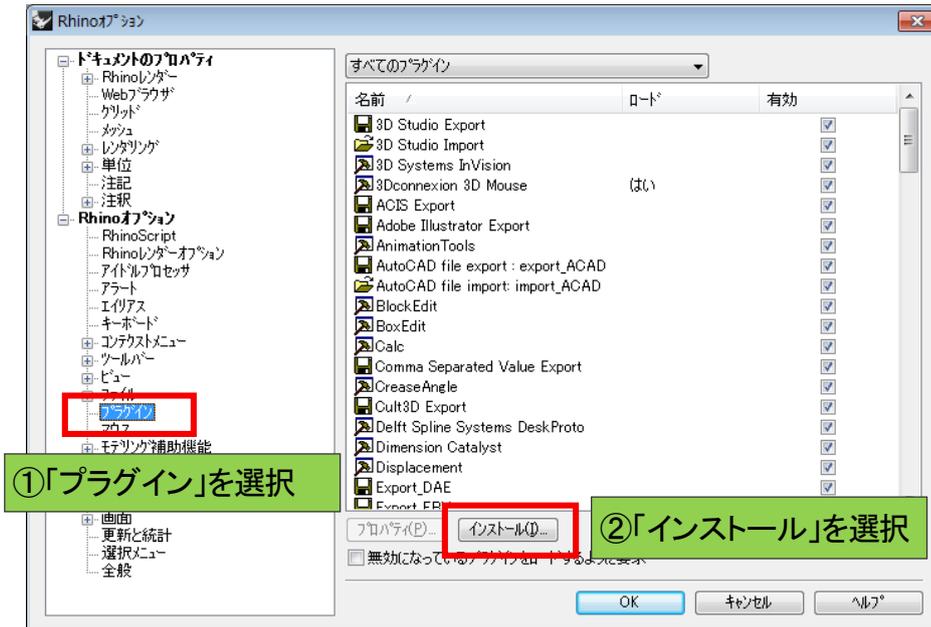
例) Rhinoceros5.0 をデフォルト設定でインストールしている場合下記ディレクトリにコピーします。

C:¥Program Files¥Rhinoceros 5.0¥Plug-ins



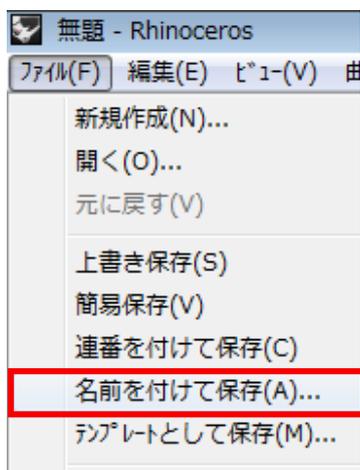
※プラグインをコピーしただけでは動作しません。さらに次の手順で Rhinoceros での登録の手順が必要です。

- (6) Rhinoceros を起動します。メインメニュー[ツール]→[オプション]から[Rhino オプションウィンドウ]を開きます。ツリーメニューから[プラグイン]を選択します。プラグイン一覧下部の[インストール]ボタンで[NxStylerExport.rhp]を選択します。[ロードダイアログ]で「自動」を選択します。



■ エクスポート方法

(1) Rhinoceros5.0 でエクスポートするデータを開きます。[メインメニュー]→[ファイル]→[名前をつけて保存]を選択します。



(2) [ファイルの種類]で[nStylerExport (*.nxr)]を選択します。[保存]を選択すると出力設定ウィンドウが表示されます。[OK]を選択するとエクスポートが開始されます。



■ 出力設定

出力設定

マテリアル出力設定

レンダリングマテリアル
 レイヤーマテリアル
 シェーディングマテリアル

オブジェクト出力設定

ポリゴン出力
 NURBS出力

頂点の共有

頂点を共有化する
 許容範囲 (現在の単位系を基準)
 スムージング角度 °
 フラット 0 ~ 180 スムース

レイヤ出力設定

レイヤの階層情報を出力する

OK キャンセル

マテリアル出力設定

レンダリングマテリアル	Rhinoceros で指定したレンダリングマテリアル色を nStyler マテリアルの拡散色として出力します。
レイヤーマテリアル	3D オブジェクトが所属するレイヤーのレイヤー色を nStyler マテリアルの拡散色として出力します。
シェーディングマテリアル	Rhinoceros でのオブジェクト表示色を nStyler マテリアルの拡散色として出力します。

オブジェクト出力設定

ポリゴン出力	サーフェース、ソリッドデータもすべてポリゴン(メッシュ)データで出力します。変換前に[メッシュ変換オプション]が表示されます。
NURBS 出力	サーフェース、ソリッドデータを NURBS データとして出力します。

頂点の共有

許容範囲	距離範囲内にある頂点を共有化します。
スムージング	指定した角度の範囲内の法線を持つ頂点同士をスムージングします。

レイヤ出力設定

レイヤの階層情報を出力する	Rhinoceros のレイヤーの親子関係を nrx ファイルで再現します。
---------------	--

■ 注意事項

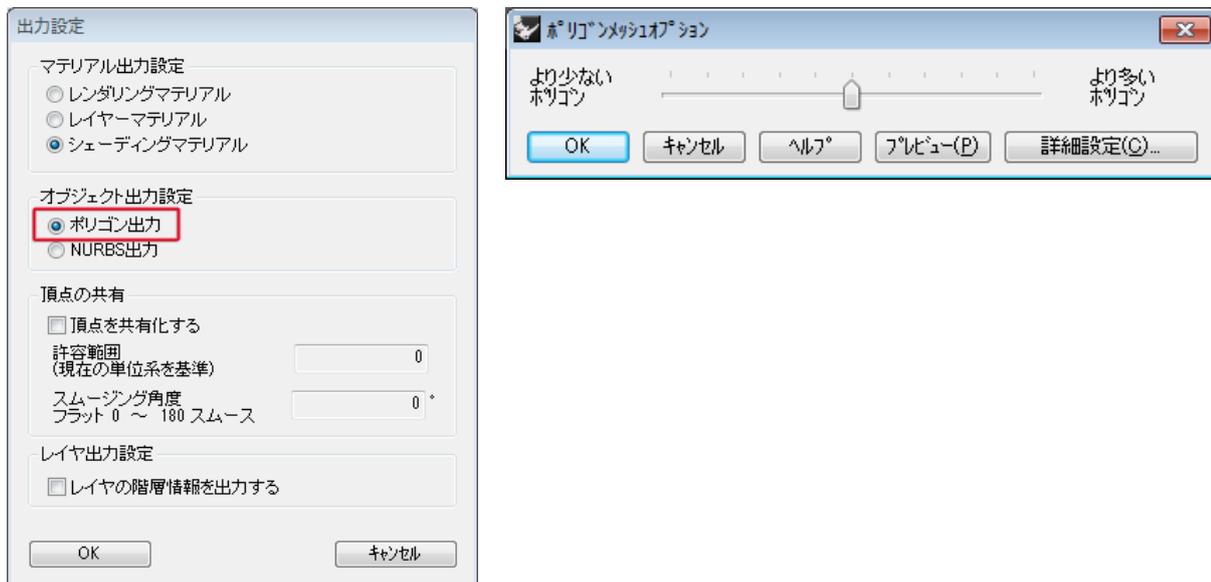
IGES形式からの制限

他の CAD 等で作成したデータを IGES 形式で Rhinoceros 読み込み、本エクスポータープラグインで nStyler 形式に出力した場合に、出力したデータを nStyler で保存するとエラーが発生し保存に失敗する場合があります。回避方法は 2 通りあります。

※Rhinoceros のみでモデリングした場合には発生しません。

方法1

Rhinoceros で nStyler 形式に出力する際に[ポリゴン出力]を選択します。



方法2

nStyler でシーンを保存する際に、[保存データタイプ]で[ポリゴンのみで保存]を選択します。

